

日中韓 国際比較シンポジウム

「農村の高齢化問題を考える」

日本、中国、韓国における農村の高齢化問題について、中国西南財経大学西部経済センターや福島大学から研究者をお招きし、シンポジウムを開催いたします。ご関心のある皆様の参加をお待ちしております。

日時 2014年7月3日(木) 13:00～ 17:30
場所 総合研究棟 A107

(報告は日本語、中国語の報告には逐語通訳が行われます)

- 13:00 開会 人文社会系教授 本澤巳代子
13:05 日本の農村における高齢化と地域経済 人文社会系教授 田中洋子
13:30 韓国の農村における高齢化・家族・グローバル化
国際地域研究専攻院生 李 俊九、国際日本研究専攻院生 李 恵美
14:00 農山村の高齢化と家族・就労・ジェンダー—被災地・福島県を中心に
福島大学 副学長、行政政策学類教授 千葉悦子
(休)
15:15 高齢化による中国農業生産と農村社会発展に対する影響
中国西南財経大学 中国西部経済研究センター
農村改革発展研究所所長 胡 小平
16:15 中国養老サービスモデルの選択におけるエビデンスと文化適応
中国西南財経大学 中国西部経済研究センター
人口研究所所長 楊 成鋼
17:15 総括・閉会挨拶

コーディネーター: 人文社会系教授 田中洋子(tanaka.yoko.ft@u.tsukuba.ac.jp)

主催: 筑波大学グローバルエイジングセンター(Center for Global Aging Tsukuba(CGAT))

厚生労働科学研究費補助金 地球規模保健課題推進研究事業「グローバルエイジングへの国境なき挑戦」

後援: 人文社会国際比較研究機構(Institute for Comparative Research in Human and Social Sciences (ICR))